

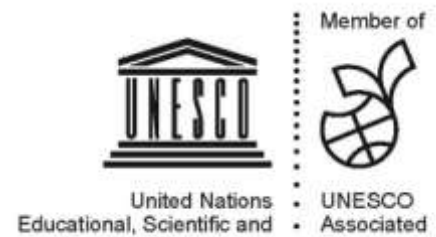
東京都 多摩市立 豊ヶ丘小学校

<http://www.tama.ed.jp/toyogaoka/>

学校と地域の魅力再発見
子どもたちが未来につなぐ
学校林プロジェクト

2050年の大人づくり 実行する子を豊ヶ丘から

ユネスコスクール (since 2010)



豊ヶ丘小の学校林は、学校の敷地の中にあります。校庭のすぐとなりなので、子どもたちがいつでも入れる遊びの場・学びの場です。休み時間も、もちろん入れます。東京では珍しいほど広く、面積は約7100㎡あります。多摩ニュータウンの開発時に手付かずのままで残された貴重な樹木林です。生活科や総合的な学習の時間をはじめ、いろいろな授業で全学年が活用しています。



多摩市は、ジブリの「耳をすませば」や「平成狸合戦ぽんぽこ」の舞台になった緑豊かな市です。豊ヶ丘小学校は開校5年目の統合校で、規模は各学年2学級の計12学級、児童数は315名です。特色ある教育活動としてESD（持続発展教育）に取り組んでおり、ユネスコスクールに登録しています。「東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校」でもあります。学校HPをご覧ください。

ゴールイメージをもって活動



思考を可視化して合意形成



学校林の中で児童の主体的な活動が充実するための鍵となるのが、教室内での取組です。そこでは、確実に「考える力」「生きる力」が伸びています。課題の発見と解決に向けて主体的・探究的・協働的に学ぶ授業、仲間の考えをまとめてより深い理解や新しい学びの価値を創造する授業があるからこそ、学校林に入っていく子どもたちには力強い目的意識があり、本気で真剣です。

シジュウカラの巣箱作り



朽ちた門の再生を検討



コナラをシタケ用ホダ木に活用



豊ヶ丘の杜と交流



階段教室作り



森遊びを提案



伐倒した木をイスに活用



市民ボランティアに取材



絵本の読み聞かせ



秘密基地を作ってビバーク



スラックラインに挑戦



ギンナン拾い